

# CHALLENGE21



第2号

チャレンジ21/1997年6月20日発行/第1巻第2号(通巻2号)/発行:全国障害者福祉援護協会

## ノーマライゼーション理念の普及に向けて 講演会とディスカッションを開催!!



挨拶をする永田近理事長

「ノーマライゼーションの講演会とディスカッション」は4月26日午後1時より横浜ラホールで神奈川県、横浜市、川崎市、神奈川新聞社、テレビ神奈川の後援のもと参加者140名(健常者・障害者・介助者・手話通訳・筆記通訳)が集まり開かれました。当協会理事長・永田近の挨拶、来賓として日本身体障害者団体連合会の村谷昌弘会長、横浜市福祉局障害福祉部の大浜悦子部長の挨拶に続き、「「障害者」と街で出会ったら」の著者もりすぐる氏の講演を聴き、参加者全員でのディスカッションを行いながらノーマライゼーション理念についての理解活動を展開しました。ステージ横では手話通訳者、筆記通訳者による同時通訳が行われました。挨拶、講演会、ディスカッションの内容は次の通り。

### 障害者、健常者が互に理解する事から始まる。

全国障害者福祉援護協会は昨年の11月に発足致しました。当協会の活動は、ノーマライゼーションの理念の普及と障害者の各種団体に対して財的、物的、人的支援を行うこと、そして高齢化社会で障害を持った高齢者に対する福祉をどうするか、こうしたテーマを3本の柱としています。

当協会は民間の手作りの団体であり法人会員、個人会員からの会費をもって運営されており、理事には会社の役員、労働組合の役員、あるいは看護婦をして

おられる方などいろんな人達が集まって活動を展開しております。発足間もない事からして障害者の皆様に充分に伝えられていない面があるかもしれませんが理事、会員の皆さんが一緒になって着実な歩みを進めているのが今日の状況です。

当協会のテーマでありますノーマライゼーションの理念の普及活動の一環として、県身連、浜身連、川身協のご協力を頂き障害を持った方々そして当協会の会員、広報を御覧になって申し込みをされた方や連合神奈川の皆様にも参加を頂きました。もりすぐる氏の講演をお聴き

し3つの分散会に分れて障害者の皆様と健常者の皆様で忌憚らない意見交換をして行きます。障害を持った方々のご苦労に対して健常者の皆様がどのような受け止め、理解するのか。また健常者の皆様が障害を持った方々に何を訴えるのか。相互の意見を出し理解を深め、夫々が婦りには何かを感じ取って貰えるような意義ある催しにして頂きたいと思っています。



全国障害者福祉援護協会  
理事長 永田 近

# 講演会

## テーマ

# 「出会い」から始まる

講師 もりすぐる氏

### 私と障害者との出会いは

街の中で通りすがりに障害者と出会ったなら何をすれば良いのでしょうか。介助も出会い、ノーマライゼーションも出会いの中からお互いが理解できるようになりまます。偏見が無くなるという言葉です。

私は祖母が弱視で3歳頃から手をつないで良く出かけていました。そして保育園、小学校では重度障害者が周りにいて一緒に遊んでいました。障害者といった意識はなく特別な人間関係ではありませんでした。高校、大学の時も出会いがあり障害者団体の人たちと接するようになりました。このように私の場合は幼い頃から現在までごく普通に生活の中に障害を持った人との出会いがありました。

### 障害者はお客様ではないのでしょいか

地方新聞に掲載された37歳の男性の投書から。

「車イスで僕が一人で駅に行ったとき、駅員より「車イスの人は一人では電車に乗れません。そういう規則になっている」と言われた。何故かと聞けば「何かあったら危ないから。他のお客様に迷惑がかかるから」おま

けに「親の住所は、職業は、連絡先は」など失礼極まりない事を言われた。結局押し問答の末「今回だけは特別だ」と言われなんとか電車に乗ることができました。迷惑を掛ける僕たち障害者はお客様ではないのですね。迷惑を掛けない人たちがお客様であって、人様に迷惑を掛ける障害者は旅行などはしてはいけないのです」

この投書の中で駅員の障害者に対する意識はどのようなものか、どうして他のお客様の迷惑になるのか、障害者の気持ちをどうとらえているか考えさせられるものがあります。

### お互いに接し慣れていないのが原因

目の不自由な人が電車と電車の間に落ちて亡くなった事が実際にありますが、障害を持った方々は「危ないですから」「何かあったら」と確かによく言われます。しかし他のお客様に迷惑が掛かったり、何かあった事は殆どありません。また年令に関係なく「親はどこに住んでるか」もよく言われます。障害を持つ人たちは保護される者であり、保護する者は親であるとみられています。だから障害者には二重のバリアがあり

ます。障害を持った人が街と出会う時こうした事が一番のバリアとなります。

障害を持った人と出会ういろいろな事が分かります。目の不自由な人でも手助けが必要でない時もあります。一方では手を出さずにはいられないと思いますし、もう一方では自分のテリトリーの中に入って欲しくない、鬱陶しいと思う時もあります。結局はお互いに接し慣れていないのが原因です。



講演を聴く140名の参加者

### 障害者に対するバリアは心の中にある

障害を持つ人が直面する様々な困難な事をバリアと言います。例えば階段があれば車イスの人は前に行けません。これがバリアです。その横にスロープなどをつけることでバ

## 今回の催しを持続的に!!

- 本日このような催しを開催して頂いた全国障害者福祉援護協会の皆様と、参加された皆様の熱意に敬意を表します。
- 今日、障害者を取り巻く問題は色々あります。新中期計画は項目で並べてみますと120いくつかの内容がありますが、政府と折衝した結果が一昨年12月の障害者プランです、これを7ヶ年でやろうとしているのです。
- 今問題なのは公的保険、サービスの対象は加齢に伴う疾病の要介護であります。障害者プランでは介護体制あるいは介護サービスを確立しようと言っておりますので、若くして障害者になった者も対象になるようにしていきたいと思っております。
- いま郵政省では耳が聞えない事での情報不足をどのようにして補うのか研究、調査が進められています。視覚障害者、聴覚障害者といった人達への情報提供を副音とかTV字幕とかを入れて行う放送局の開設が進められています。
- 障害を持っている人を含め国民全ての人達が何の隔ても無くお互いが接触でき、共に社会の一員として暮らができるような社会を築く事が今日の催しの趣旨であると思います。この催しの盛会と、全国障害者福祉援護協会がこうした活動に持続的に取り組まれ、益々ご発展される事をご祈念いたします。

## 全国障害者福祉



社会福祉法人・日本身体障害者団体連合会 会長 村谷昌弘氏

## 横浜市にとって心強い企画!!

本日の催しはノーマライゼーションの理念を多くの人に理解してもらい、ディスカッションを通じて障害者福祉の普及・啓発に大きく寄与するものと思います。横浜市も障害者福祉の普及・啓発に努めていますが大方の皆さんは総論では賛成して頂けるのですが、現実には障害者の施設が自分のすぐ近くに来ることになりますと難しいこともあります。こうした状況の中でこうした講演会を開いて頂けることは横浜市にとりまして、障害者福祉の一端を担う者としていたしましても大変心強く思っており、イベントを企画されました関係者の皆様に敬意を表したいと思います。障害者基本法、障害者プランが策定され、ノーマライゼーションの一層の推進に取り組む環境が出来つつあると思います。横浜市では2010年を目指し「夢はま2010プラン」を作り、いろいろと事業を進めています。

1998年の11月には全国身体障害者のスポーツ大会が開催されます。今回からは前の大会に出場した方も参加出来るようになっていきます。5月15日には「浜ピック」があります横浜市の手選者の大会にもなります。沢山の方々に出て頂きたいと思えます。

開港150周年を記念して2008年にはオリンピック・パラリンピックを横浜で開催したいと立候補しております。特に横浜は福祉都市を目指しておりパラリンピックに焦点を当て福祉に対しての追い風になりたいと思っておりますので是非ご支援頂きたいと思っております。本日の成功をお祈りいたします。



横浜市福祉局障害福祉部 部長 大浜悦子氏



もりすぐる氏  
プロフィール

1966年静岡県清水市出身。大学在学中より送迎ボランティアなどに携わる。交通問題にも高い関心を持ち、現在交通権学会員。「阪神大震災」「長良川河口堰」など、自然・人権・平和についてのレポート「技術と人間」などに発表している。

現在「WELL」季刊誌/7777インターナショナルに「バリアフルな街角」を連載執筆中。

著書に「障害者と街で出会ったら」(緑風出版)、「リニア—破壊への超特急」(拓殖書房、共著)がある。

**出会いを大事にしたい**  
街に出ると様々なバリアがあります。例えば新幹線では障害を持った人が予約すると12号車を指定されます。ところが車イス専用のエレベーターは1号車寄りにあります。このように駅やビルディングを造る時、それ

アフリーと呼ばれるいます。バリアには4つの類型があります。階段の段差などの「物理的なバリア」視覚障害者は運転免許が取れないなどの「制度的なバリア」音声情報や視覚情報が取れない「情報のバリア」そして偏見などの「心のバリア」本日のイベントはまさに心のバリアを除くための企画であります。  
障害を持つている人たちを見下してしまう。また可哀想ね、頑張ってるねと哀れんでしまう。これは障害を持つている人を特別な人として見る現れであり、対等なパートナーシップと考えていない現れであります。  
「心のバリア」は一人一人が自分自身で取り除いていかなければなりません。



ディスカッションでの手話通訳者

らを設計する人がバリアフリーの発想を持っていないと出来ません。こうした発想は障害者と出会うことが無ければ生まれません。だからこのことからまずは出会いから始まるのです。  
街や建物には誘導ブロック、警告ブロックがありますが、ブロックの上にマットを敷く人、物を置く人がいます。こうした人は障害者と出会うことがない人です。だからこの事柄がどんなに大きな障害、バリアになっているか理解出来ないのです。障害を持った人を個人として尊重し、人間関係を持つことを大事にし、今日ここで皆様と出会った事を大事にしていきたいと思えます。

◆◆ディスカッション◆◆

講演会の後、障害者40人を含む140人の参加者が3グループに分かれ、「障害者が健常者に望むこと」「健常者が障害者に望むこと」をテーマにディスカッションを行いました。

1時間という限られた時間の中で多くの意見が交わされ、有意義なディスカッションは盛り上がりを見せました。すべての発言をスペースの都合上紹介できないのは残念ですが、その一部を次の通り抜粋しました。  
☆障害者といってもどのような種類があるのかわからないので教えてほしい。  
☆現在は学校に障害者がいない。この事は教育側の問題なのか、父兄から教室に障害者がいると勉強の妨げになるといったことではないのか。障害者と共に生きようというノーマライゼーションの理念からして間違っていると思う。もっと身近な点から考えるべきである。

☆外国(イタリア)で障害者だけを特別扱いしない事を具体的に体験した。これこそノーマライゼーションだ。  
☆自分は障害を持っているという事で地域の自治会役員を免除されたが、自分はやりたかったので残念に思った。  
☆自治会の仕事には大変なこともあるので障害を持つている人には役員を頼みづらいと考えていたが、障害者も役員をやる気持ちを持つておられるという事について理解できたので今後の参考にしたい。

☆私(脳性麻痺)が話していることは分かりづらいかも知れませんが、分かるまで一生懸命に話しますのでどんどん聞いてもらいたい。☆点字ブロックの上に自転車や自動車止めがあると障害者がどのようになるか分かっておられないのではないか。人の気持ちがあ



障害者、健常者交えてのディスカッション

分らない人が通路に簡単にものを置く。☆障害者に声を掛ける時は相手の人に触れて声をかけてもらいたい。  
☆障害者を知って貰うために私は積極的に出て行き、小中学校に行つて小学生に車椅子の経験をして貰っています。子供の頃の経験が障害者との接し方に将来は必ず役に立つと思つて実践しています。

☆地域の人が擁護学校を利用して、障害者との触れ合いを先生の指導ではなく父兄の人が進めている。  
☆酸素ボンベを持って街を歩くことに対する偏見がある。心のバリアを取り除くには相手の生き方、価値観を認め合う事で理解が深まり心のバリアフリーができる。

☆ボランティア活動は堅苦しく考えなくて気軽に出来る。経験者だけではなく、初めての人も出来る。  
☆資料の中の名簿が障害者と健常者に欄が分かれていて、会の趣旨から外れているのではないかと。また資料は点字でも作って貰いたい。

☆一般的に障害者に関する情報が非常に少ないタウンページを見てボランティアに参加

しているが、もっと多くのボランティア情報など提供して貰いたい。

☆広報よこはまを見てこの催しに参加した。本当に素晴らしい試みであり今後も続けて行って貰いたい。また全国障害者福祉協議会やインターネットの開設をして貰いたい。

☆自分があるいは家族が何時障害者になるかわからない。こうした事を一人一人が自覚してノーマライゼーション、バリアフリーと言った事を自分の問題として考え行くことが大切である。ここで勉強したこと、気がついた事、考えさせられた事を自分たちの組織の中に提起していきたい。

まとめ

はじめに開催したノーマライゼーション理念の普及のための講演とディスカッションではありましたが、参加して頂いた方々相互から多くの忌憚ない意見が出されました。こうした意見交換を通して障害者と健常者がお互いの価値観、生き方を理解しあつて皆が何の隔たりも無く生活できる社会の実現こそ私たち全国障害者福祉協議会がめざしている事でもあります。

今回のイベントの開催はこうした全国障害者福祉協議会が求めているテーマの実現に一歩あるいは半歩かもしませんが、確実に近づいたための催しになったものと確信致します。

そして今回のイベントで私たち全国障害者福祉協議会に提起された幾つかのご指摘、要望意見については今後の活動に向けての激励として受け止め、より一層充実した取り組みをしていきます。

今回のイベントに参加して頂いた皆様としてお手伝いをして頂いたボランティアの皆様、紙面をお借りしてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

# ボランティア活動報告

各地で行われたイベントのお手伝い、そして障害者の介助など、当協会に登録しているボランティア要員と一緒にボランティア活動をしてきました。

昨年11月の発足パーティーは大盛況に終了。準備作業に追われていた協会もやっと落ち着き、本格的な活動を開始することができました。2月9日の囲碁将棋大会を皮切りに神奈川県内で行われた各イベントに参加、主催者側のスタッフとして、障害者の介助などを当協会に登録されたボランティアの方々と一緒に行っていました。ボランティア活動は当協会の活動テーマの一つであり、参加できる所で、参加できる時に無理をせず行うことを「合い言葉」としております。障害をもった方々と接し、コミュニケーションを持つことで今まで体験できなかった多くのことを学ぶことができました。ノーマライゼーションの理念を理解するにはボランティア活動に参加することも一つの方法と考えております。

## ●横浜市身体障害者囲碁将棋大会(2月9日)



視覚障害者と聴覚障害者との対戦

横浜市健康福祉総合センターで将棋と囲碁の大会が行われ、横浜市視覚障害者福祉協会の要請により当協会とNKK京浜労組が審判や主催者側のスタッフとしてボランティア活動に参加。

囲碁と将棋は10時から始まり4回戦行いました。競技者は聴覚障害、視覚障害、肢体不自由と様々。その中でも特に視覚障害者の将棋はただびっくりするばかりで、しばしば見入ってしまいました。協会を設立して初めてのボランティア活動、大変有意義な1日でした。

## ●横浜市長杯ボウリング大会(2月16日)

白楽ホールに視覚障害者(全盲、中盲、半盲)21人が集まり、ボウリング大会が小雨降る日曜日に行われました。ボランティアに来たもの、どのように介助、手伝ったら良いのか戸惑いがありました。ちよっと肩

を貸し、ちよっと声を掛けるだけの簡単な事で健常者と同じようにボールを投げる事ができる。そのちよっとした事が実際に障害を持った人たちと触れてみて初めて分かるような気がしました。



競技者を介助するボランティアの方々

## ●第4回横浜地域連合マラソン大会(2月22日)

マラソン大会が横浜地域連合主催、当協会後援で石川島播磨重工業横浜事業所構内で行われました。広大な構内を5km、10km、20kmと3つのコースに分け、視覚障害者、聴覚障害者、健常者が共に走りました。北風が吹きさすさぶ今年2番目の寒空の下で、主催者側のスタッフとしてお手伝いした我々は鼻水を垂らしながら、ランニング姿の走者に応援を送っていました。



ゴール目指して走る伴走者と視覚障害者

## ●ウォークラリーーN八景島(3月30日)

横浜労働者福祉協議会主催、当協会後援。会場は八景島シーパラダイス。

今回はスタッフが数多く揃っていたために、大したお手伝いはいりませんでした。前回のマラソン大会と違い、桜が咲き始めたボカボカ陽気、海風にあたりながらピクニック気分でも沢山の障害を持った方々とコミュニケーションがとれた事は心の中もボカボカ気分でした。

## ●自然観察と野鳥研修会(5月24日)

浜視協会の視覚障害の方々とは当協会ボランティア要員と総勢45人、横浜駅から貸し切りバス(横浜福祉バス青空一号)で栄区「上郷・森の家」へ自然観察に行っていました。案内役のレンジャーの説明を受けながら、ホトトギス、ウグイスなどの野鳥のさえずりを聞き、花の香りを楽しみ、小雨混じりの遊歩道を散策してきました。全員でお弁当を食べお茶を飲み、今以上に沢山のお話ができ、とても楽しい1日を過ごしました。



ボランティアも一緒に楽しみました

ボランティア活動に参加された方からの感想  
ボランティア活動に参加して多くの事を学びました。  
川崎市 黒川 陽子  
障害者の方に接する事は今までほとんどなく最初は戸惑ってしまいましたが、接して初めて、障害者だから、目が不自由だから、といった特別な扱いをする必要は全くないんだなと感じました。  
もし自分の目が不自由ならどうしてもらえばありがたいのかと考えた場合、自然に自分の取るべき行動が見えてくると思えました。例えば、友達同士で出かけた時、仲間の一人が足をくじいてしまったら、重い荷物なら持ってあげる。歩きにくければ肩を貸してあげる。それと同じ事なんだなと思えます。  
右なのか左なのか、上がるのか下がるのか、引くのか押すのか、そんな事すら考えつかずぼんやりしていたり、言葉が足りなかったり、無意識のうち勝手に手を出して「あとは自分でできるから」と言われハツとする事もありました。  
遠慮なく思いをぶつけてくれるようなへ關懷わり合い(人間関係)が大事だなと思えました。精神的に少し疲れましたが、有意義な1日を送ることができました。  
大した事ができるわけではないけれど、必要としてくれる人に力を貸してあげられたらと思う気持ちからボランティアに参加させて頂きました。この活動を通していろいろな方と知り合う事で自分自身が大きく成長できたら、そしていつも自分のできる限りの事を精一杯やっていきたい。そう考えています。

## 旭硝子労働組合の協力で マッサージ器を特別養護 老人ホームへ寄贈

旭硝子労働組合の結成五十周年記念の事業として当協会にマッサージ器を頂きました。当協会は旭硝子労働組合の意向を受けて社会福祉法人・緑峰会の特別養護老人ホーム港北みどり園に寄贈いたしました。早々に特別養護老人ホームのお年寄りが利用され、大変楽になると言っておられる姿を見て私たちも本当に良かったと思っています。旭硝子労働組合の皆様のご好意に心より感謝申し上げます。

さらには、全国障害者福祉支援協会の活動にご理解を頂いていいます方から浴衣100枚の提供を頂きましたので東京都杉並区の社会福祉法人・杉樹会に寄贈致しました。紙面をお借りして感謝申し上げます。



旭硝子労組の矢内義彰支部長(左から2番目)と一緒に寄贈

## 全労済神奈川県本部より 多額の寄付を頂きました

全労済神奈川県本部(理事長・新井敏夫氏)は社会貢献している福祉団体に創立四十周年記念事業の一環として慈善寄付をされました。当協会も多額の寄付を頂きました。

この貴重な浄財につきましては障害者のために活用させていただきます。事とし、具体的には創立四十周年記念事業の趣旨「愛・ふれあい・たすけあい」に沿って全国の盲人の方々にとって必要不可欠な「盲人用具カタログ・平成9年度版」の作成費用の一部に充たさせていただきます。

全労済神奈川県本部の関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

## 日盲連と浜視協に タクシー拾いに便利な プレート

タクシー拾いに便利な  
プレートを寄贈



猪俣功忠会長(浜視協)にタクシープレートを寄贈

社会福祉法人・日本盲人会連合(日盲連)と社団法人・横浜市視覚障害

者福祉協会(浜視協)に盲人の方がタクシーを拾う時に便利なプレートを200枚ずつ寄贈しました。

このプレートはプラスチック板に黄色の夜光塗料でタクシーの文字が印刷されており、盲人の方が夜タクシーを拾うのに大変助かることと事です。

浜視協には4月27日に横浜ラポールで開催されました浜視協代議員総会の席で猪股功忠会長に直接手渡し寄贈致しました。また日盲連には200枚を5月16日に送りました。

両組織の代表者から全国障害者福祉支援協会に対し丁寧な感謝のご挨拶を頂きました。

## 全電通労組・横浜支部の 第3回青年代表者会議で 当協会の組織と活動に ついて講演

全電通労組横浜支部の青年代表者の皆さんが5月20日かながわ県民センターにおいて、青年活動の柱の一つであるボランティア活動の具体的取り組みを行うための学習会を開催いたしました。

この学習会に当協会永田理事長が講師として招かれ、当協会の組織と活動について講演をされました。その中でボランティア活動については要員登録の仕方や具体的活動の事例などについて語り、出席者に対しもっと気軽にボランティア活動に参加してみたらと訴えました。

出席者の皆さんがこうした学習会を通して一人でも多くボランティア活動に参加していただくようになれば、全国障害者福祉支援協会にとっても大変ありがたい事だと思っております。

ア活動に参加していただくようになれば、全国障害者福祉支援協会にとっても大変ありがたい事だと思っております。



講演を行う永田理事長

## 当協会より 7団体に寄付

昨年11月に実施した「発足記念チャリティーパーティー」で集められたチャリティー金を翌12月に7団体の代表者に会い、寄付しました。

### 【寄付先】

- 社会福祉法人 日本盲人会連合
- 社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会
- 財団法人 神奈川県身体障害者連合会
- 社団法人 横浜市身体障害者団体連合会
- 社団法人 川崎市身体障害者協会
- 横浜マックアルコールケアセンター
- 横浜ダルクデイケアセンター

## 7月のボランティア活動

### ●視覚障害者ボウリング大会

日時/平成9年7月6日(日)  
午前9時30分〜12時  
場所/白楽ボウル  
横浜市神奈川区西神奈川2-9-5  
(東横線・東白楽駅前)  
Tel 045-432-4451  
集合/午前9時15分(白楽ボウル)  
内容/競技者の介助  
※ボランティア活動に参加できる方は当協会までご連絡下さい。お待ちしております。

### ボランティア要員募集

私たちは各地で行われるイベントなどのボランティア活動にできるだけ参加していきたいと考えています。当協会には現在50名程のボランティア要員が登録されていますがまだまだ足りません。自分が得意としている事で、自分が参加できる所で、自分が参加できる時に、無理をせずボランティア活動に参加して下さい。

参加して頂くためには「全国障害者福祉支援協会」に個人または団体(企業・労働組合・町内会・学校・趣味の会・スポーツクラブ・サークルなどで登録して頂きます。

登録して頂いた方々にボランティア活動のご案内をお送り致します。

お問い合わせ/

全国障害者福祉支援協会  
事務局

TEL045-411-0294  
FAX045-411-0295



# 第1回チャリティゴルフ大会に160名参加

5月9日(金)箱根湖畔ゴルフコースで当協会主催「第1回チャリティゴルフ大会」が開催されました。平日にもかかわらず理事の皆様を始め、法人会員、個人会員、労働組合員160名が参加。朝から雲行きが怪しかった空はスタート間もなく本降りになり、吐く息も白くなるほどのコンディションの中全員健闘され、男子の部、女子の部それぞれの優勝、準優勝、3位、ベストグロ、ドラコン、ニアビンのプレイヤーに表彰を行いました。そして皆様から協賛頂いた賞品により参加者全員空クジ無しの大抽選会を行い、協会初のゴルフ大会は大成功に終わりました。

参加された皆様および協賛くださいました皆様、誠にありがとうございました。そしてチャリティ

## 賞品をご協賛して頂いた皆様です

- ・アサヒ飲料(株)
  - ・(株)伊藤ビル
  - ・(株)エイセキ
  - ・NKK
  - ・NKK労運
  - ・エバラ食品工業(株)
  - ・(有)河手特殊染色
  - ・川辺 芳男
  - ・共栄冷機工業(株)
  - ・キリンビール労組
  - ・(株)サンメンバーズカントリークラブ
  - ・(株)しょういん
  - ・(株)しょういん横浜
  - ・竹花 敏夫
  - ・橘家
  - ・東芝神静設備機器(株)
  - ・日産リック
  - ・日産労組座間支部
  - ・日本金属工業(株)相模原製造所
  - ・日本交通管制技術(株)
  - ・(株)八 洋
  - ・プリアストン労働組合
  - ・(株)豊和トラベルサービス
  - ・(株)マツダゴルフ
  - ・間野商事(有)
  - ・三木組
  - ・(有)ミヤギ総業
  - ・(株)村上義一商店
  - ・UCC上島珈琲(株)
  - ・(株)有徳社
- (30件敬称略)



表彰式で挨拶する永田理事長

「第2回チャリティゴルフ大会」は10月に開催する予定です。8月頃にご案内いたしますのでふるってご参加頂きますようお願い申し上げます。

イーホールで寒さと闘いながらお手伝いして頂いたボランティアの皆様大変ご苦労さまでした。心よりお礼申し上げます。

# 「第2回手話教室」中級コース」開催

第1回初級コースが修了。引き続き「中級コース」を5月19日より開催。40名が参加して、今年10月27日まで20回行われる。



第2回手話教室開講式



女子の部優勝者 中村 典子 氏



男子の部優勝者 石島 伸晃 氏

昨年11月にスタートした「第1回手話教室・初級コース」は今年4月末に20回の講習課程を修了しました。4月28日の最終日には当協会理事長永田近より受講生に修了証が授与されました。初級コースでは受講生の殆どが手話未経験者でも分からなかったが、最終日には一人一人が感想を手話で表現できるようになりました。長期の講習会にも関わらず熱心に受講され、また期間中居酒屋での懇親会を行い教室では習わない手話も覚えるなど楽しい雰囲気を実施、無事修了しました。

全国障害者福祉協議会では初級コースを引き続き開催する予定でしたが、初級を修了した大半の受講生より中級コースを是非開講して欲しいとの要望がありましたので、予定を変更して「第2回手話教室・中級コース」を開催する運びとなりました。30名の定員を上回る応募者があり40名を対象に5月19日より横浜市の後援、そして横浜市聴覚障害者福祉協会の協力のもとに神奈川県民センター(横浜西口)で開催。10月27日まで毎週月曜日20回行います。

全労済



## 人生の節目には、保障を見直そう。

こくみん共済。は「ここがらがら」という点がたくさんあります。負担が少なく、大きな保障が得られる。保障範囲がワイド、手軽に申込み手続きができるなど。全労済ならではの加入者の立場に立った思いやりが信頼され、全国の方々に選ばれ続けています。あなたも、選ばれる理由をじっくり確かめて、暮らしの安心を育てませんか。

こくみん共済

人にやさしく。地球にやさしく。



全労済は「自然環境」と「高齢者」のための活動・研究を応援しています。

「保障の共済」だから、ね。

全労済神奈川県本部  
045-473-6031  
〒222 横浜市港北区新横浜2-4-9

# 今後の主な活動内容(7月~10月)

7月

- \* 手話教室の開催(横浜市)
- \* 視覚障害者ボウリング大会ボランティア活動(横浜市)
- \* ノーマライゼーションの理念についてフォーラムを開催(広島県福山市)

8月

- \* ボランティア入門教室の開催(横浜市)
- \* 手話教室の開催

9月

- \* ノーマライゼーションの理念についてフォーラムを開催(三重県津市)
- \* 手話教室の開催

10月

- \* 第2回チャリティゴルフ大会の開催
- \* 手話教室の開催

## 赤恥かかないマメ知識 (2)

日頃何気なく使っている言葉でも勘違いしている場合が結構あるものです。このコラムではそういった言葉を取り上げてご紹介していきます。

### 汚名挽回

高校野球の試合で、前の回にエラーをした選手が次の回に走者一掃のツーベースヒットを打ちました。アナウンサー氏：「汚名挽回のタイムリーヒットです。」  
何となく聞いていると聞きのがしてしまいそうですが、意味をよく考えると変だなと気づきます。この場合は、「名誉挽回(または汚名返上)のタイムリーヒットです。」とするのが正しい使い方と言えるでしょう。



他にもこういった勘違いしている人の多い言葉をお寄せ下さい。採用させていただいた方には、全国障害者福祉援護協会オリジナルテレカを差し上げます。

### 劇団ピッカリ座公演に当協会が協賛

当協会理事の橋本憲明氏が取締役を務める劇団ピッカリ座は今年創立30周年を迎え、記念公演にぬいぐるみ人形劇「不思議の国のアリス」を去る3月16日川崎市教育文化会館で開催。この公演に当協会が協賛をしチケット販売を行いました。チケット売上金の一部は当協会の福祉活動に充たせて頂きます。



協賛第2弾  
「白雪姫と七人の小人」  
チケット発売中

とき/8月31日(日)

じかん/午前11時開演(午前の部)

午後1時45分開演(午後の部)

ところ/川崎市教育文化会館

入場料/A席2200円(全席指定・こども、大人同一料金3歳以上有料)

※チケットの購入は当協会事務局までお問い合わせ下さい。

### テレビ神奈川(TVK)に永田理事長出演!!

去る4月14日(月)TVKテレビ「HAMA大団・00:30~15:00」に永田理事長が出演。当協会の理念、活動、講演会の告知などを紹介しました。放送後、視聴者からの電話が当協会へ数多くありました。ありがとうございました。



### 事務局移転のお知らせ

全国障害者福祉援護協会が同じ伊藤ビル3階から4階に移転しました。

住所・電話番号・FAXは従来通り変わりません。お気軽にお立ち寄り下さい。

〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3

伊藤ビル 4F

TEL:045-4111-0294

FAX:045-4111-0295



### もりすべる著

### 「障害者」と街で出会ったら

(1680円)

は当協会で購入しております。

購入希望の方は電話またはFAXにて当協会事務局までお申し込み下さい。

1680円の他に別途送料(160円)を頂きます。



## ボランティアベンダー設置にご協力ください



お求めはこのステッカーのある自動販売機で

ステッカーのある自動販売機で缶飲料を購入すると、自動的に代金の一部がボランティア・ベンダー協会を通じて、全国障害者福祉援護協会に寄付され、障害者福祉活動に役立てられます。是非この機会にボランティアベンダー(自動販売機)の設置にご協力お願い申し上げます。

お問い合わせ先

### 全国障害者福祉援護協会

〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3 伊藤ビル  
TEL:045-4111-0294(代) FAX:045-4111-0295

# ご協力ありがとうございます。 今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

このコーナーでは当協会の法人会員を順次ご紹介いたします。

- 旭硝子労働組合
- 石川島播磨重工業労働組合
- (株) 伊藤ビル
- (株) エイセキ
- (株) エーディーエー
- エヌケーケープラント建設 (株)
- NKK
- NKK労連
- (株) 大熊整美堂
- (株) オールウェズ
- カサイ産業 (株)
- 神奈川県労働金庫
- 川崎製鉄健康保険組合
- 川崎製鉄労働組合連合会
- キリンビール労働組合
- (株) クラスター
- 銅管ドラム (株)
- 交通労連関東地方総支部
- 小松製作所労働組合
- 医療法人直源会 相模原南病院
- (株) サンエープロセス
- (株) ジェイ・エスエス
- (株) ジェイ・ワイズ
- (株) しょういん
- (株) しょういん横浜
- 新日本製鐵労働組合連合会
- (株) シンプル
- 鈴江組倉庫 (株)
- 住友重機械労働組合連合会
- (株) セレモネット
- 全民懇ボランティア基金
- 全国造船重機械労働組合連合会
- (有) ディーキャット
- 東京電力労働組合神奈川総支部
- 東芝労働組合
- 東邦薬品 (株)
- 日本携帯電話サービス (株)
- 日本健康ファミリー共済
- 日本鋼管京浜製鉄所労働組合
- 日本鋼管工事 (株)
- 日本鋼管鶴見労働組合
- 日本鋼管津労働組合
- 日本鋼管福山製鉄所労働組合
- 日本鋼管本社労働組合
- 日本交通管制技術 (株)
- 日本鉄鋼産業労働組合連合会
- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会
- ネイチャーライフ (株)
- 日立製作所労働組合
- 平和交通 (株)
- マツ・トレードサービス (株)
- (株) マネジメントサービス
- 間野商事 (有)
- 丸全昭和運輸労働組合協議会
- 三井造船労働組合連合会
- 造船重機労連三菱重工労働組合
- (株) 村上義一商店
- (株) 有徳社
- 竜童建設 (株)

(アイウエオ順)

## 全国障害者福祉援護協会では会員を募集しております

### 編集後記

今年の1月にCHALLENGE21創刊号を発行。発足パーティーや当協会の紹介などあれやこれやで4頁の予定が8頁になってしまった。創刊早々果たして2号目はページを埋めるほど話題があるかどうかや懸念していたものの、いざ2号を出す今日までの5ヶ月間、ボランティア活動を始め「講演会とディスカッション」「手話教室」「チャリティゴルフ大会」などの活動に取り組み、記事を取めるには今回も4頁では足りなかった。3号も同じような、いやもっとそれ以上のボリュームで発行する事ができるよう、今まで以上に沢山の活動に積極的に取り組み会報を通じてお知らせしていきます。

T.S.

法人会員 1口 5,000円/月  
個人会員 1口 1,200円/月

指定の「加入申込書」にご記入の上、当協会までお申し出ください。  
お問い合わせは「全国障害者福祉援護協会」事務局

TEL:045-411-0294  
ヨイヒト ワフクシ



## CHALLENGE21第2号

発行者: 全国障害者福祉援護協会

編集人: 永田 近

発行日: 1997年6月20日第2号

所在地: 〒221 横浜市神奈川区鶴屋町2-22-3  
伊藤ビル

TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295

#### シンポジウム・イベントの開催

各種イベント等を通じ、ノーマライゼーションの理念の普及を行います。



#### 障害者団体への寄付

障害者団体等への、寄付を定期的に行います。



#### 高齢者福祉活動

高齢化によって障害をもった方への福祉活動を行います。



#### ボランティア活動の支援

ボランティア活動に参加・支援します。



#### 各種研究活動

バリアフリー社会を目指し、障害者用の住宅、公共施設等の研究活動を行います。



#### 広報活動

広報誌の発行、出版等を行います。

